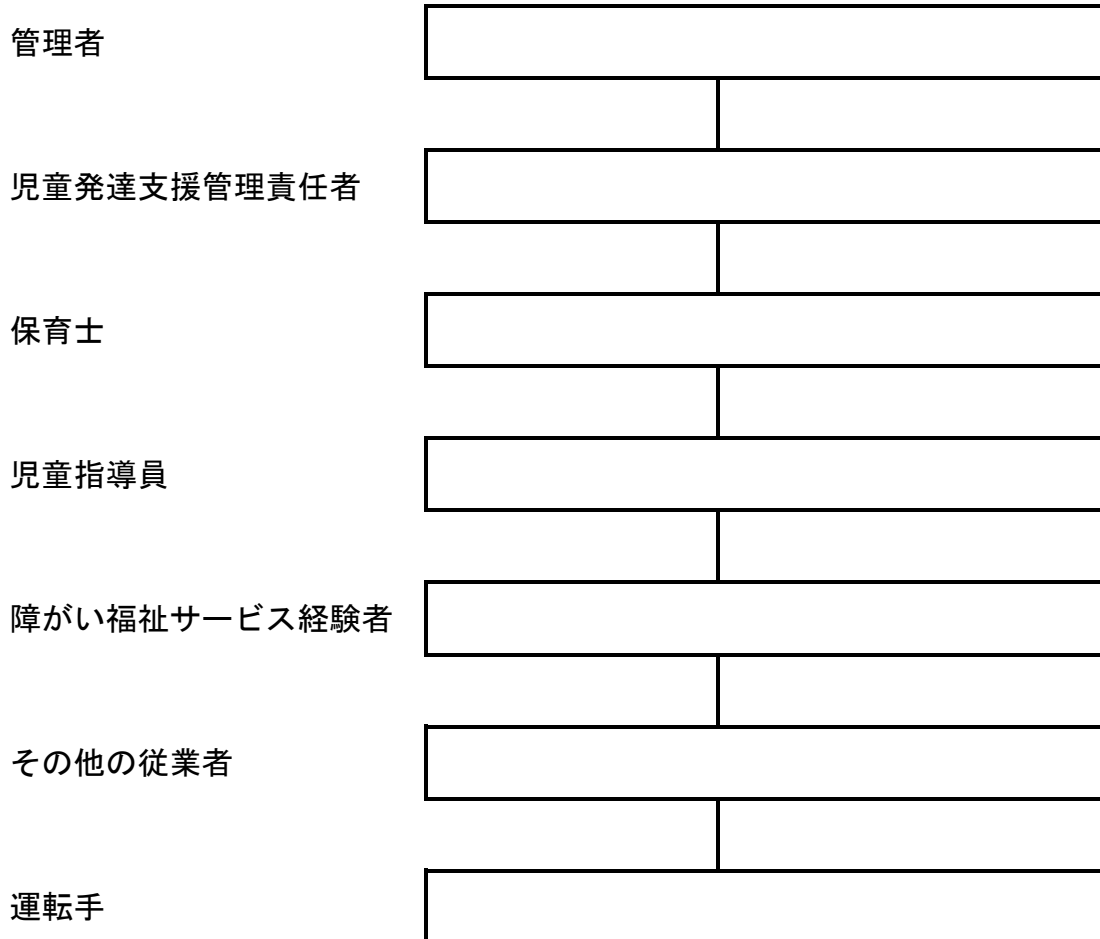


(記入例 1)

組織体制図

〇〇〇〇 事業所

(児童発達支援 ・ 放課後等デイサービス)



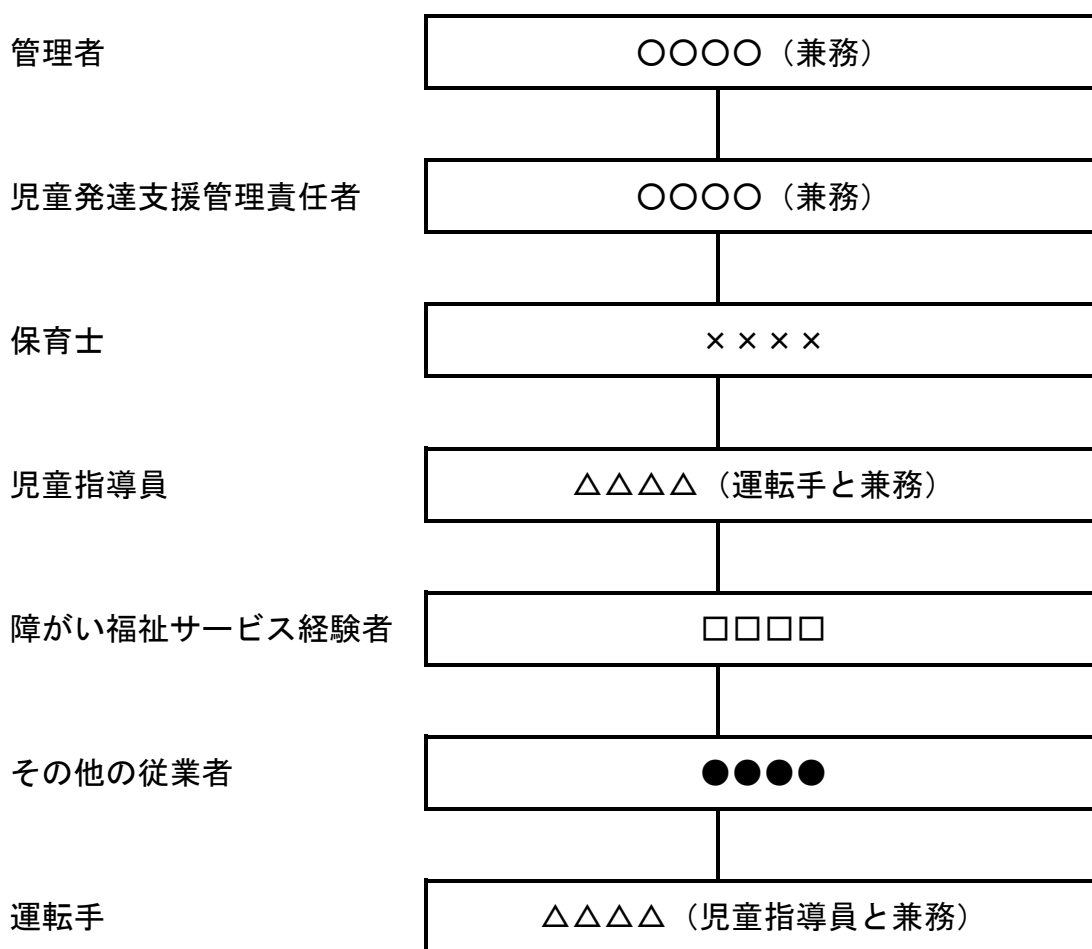
児童発達支援のみ行う場合

児童発達支援と放課後等デイサービスを行う場合で、管理者、児童発達支援管理責任者及び従業員の全てを同じ体制で行う場合

組織体制図

〇〇〇〇 事業所

(児童発達支援 ・ 放課後等デイサービス)



※ 管理者が児童発達支援管理責任者を兼務する場合や、児童指導員が運転手を兼務する場合等、1人で複数の職種を兼務する場合はそれぞれの職種欄に氏名を記載してください。

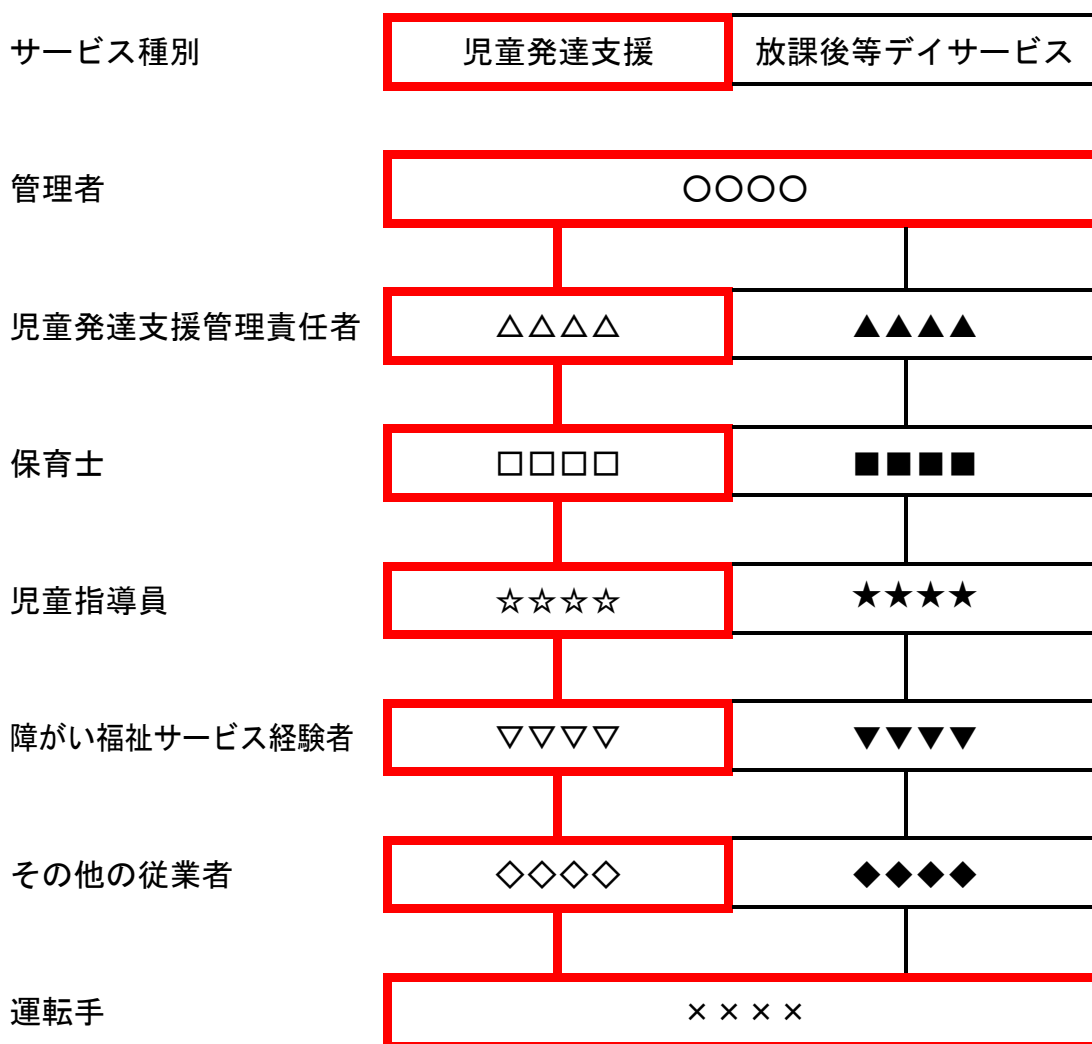
例) 児童指導員 高槻 太郎 (兼務)
運転手 高槻 太郎 (兼務)

※児童指導員、保育士等で資格を持った従業員がいる場合は、職種で分けて記載してください。

児童発達支援と放課後等デイサービスを行う場合で、管理者は兼務、児童発達支援管理責任者及び従業者は別体制の場合

組織体制図

〇〇〇〇 事業所



※ 管理者が児童発達支援管理責任者を兼務する場合や、児童指導員が運転手を兼務する場合等、1人で複数の職種を兼務する場合はそれぞれの職種欄に氏名を記載してください。

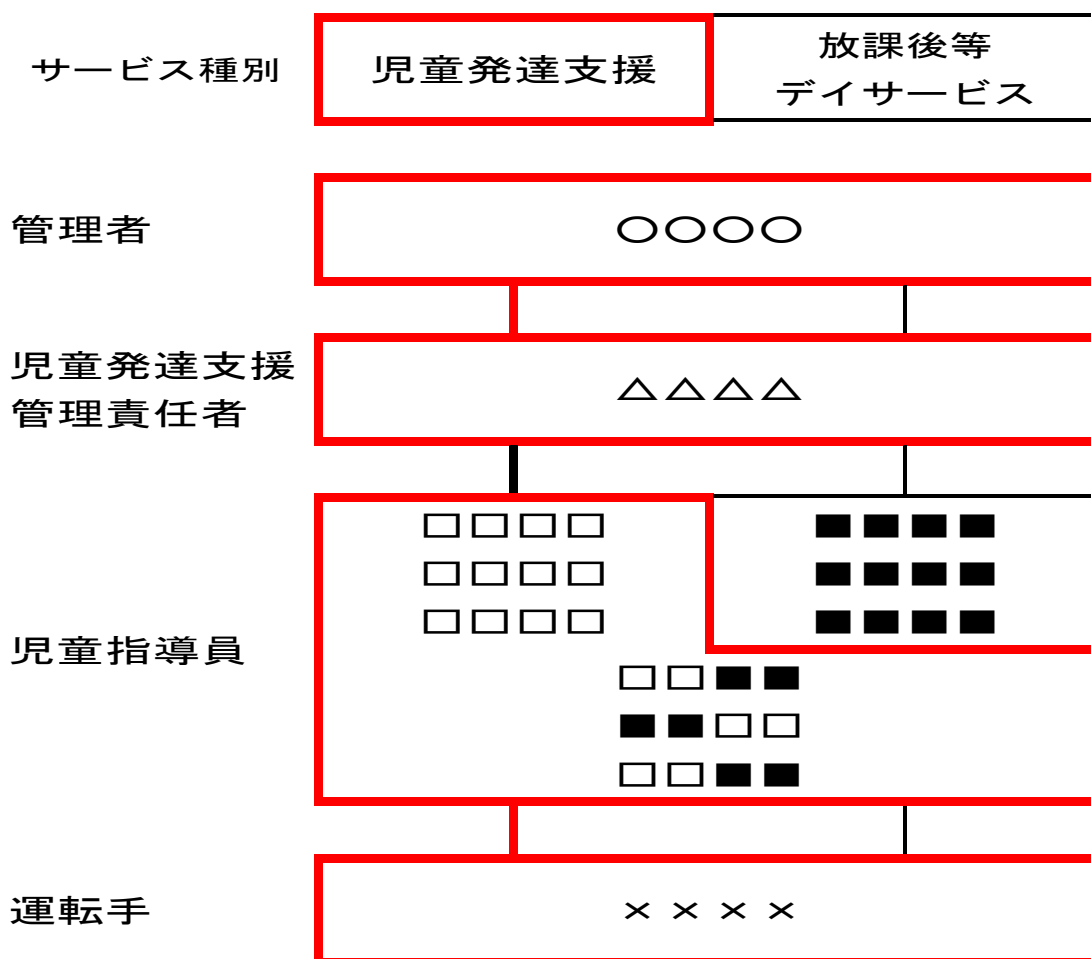
※
例) 児童指導員 高槻 太郎 (兼務)
運転手 高槻 太郎 (兼務)

※児童指導員、保育士等で資格を持った従業者がいる場合は、職種で分けて記載してください。

児童発達支援と放課後等デイサービスを行う場合で、管理者、児童発達支援管理責任者が同じ体制で、従業者の一部のみ別体制の場合

組織体制図

〇〇〇〇 事業所



管理者が児童発達支援管理責任者を兼務する場合や、指導員が運転手を兼務する場合等、1人で複数の職種を兼務する場合はそれぞれの職種覧に氏名を記載してください。

例) 指導員 高槻 太郎 (兼務)
運転手 高槻 太郎 (兼務)

※児童指導員、保育士等で資格を持った従業者がいる場合は、指導員に含めず、職種で分けて記載してください。

(記入例2)

事業計画書

サービスの種類 (児童発達支援、放課後等デイサービス)

事業所又は施設名 (○○○○ (申請書に記載したものと同一の事業所名称))

項目	内容
1 事業の内容 <p>右記項目はあくまで記載例です。事業の内容は具体的な事業の実施方法等を記載して下さい。</p>	児童福祉法に規定される障がい児通所支援の児童発達支援を、下記業務を通じて適切に実施する。 (1) サービスの提供 (2) 個別支援計画の作成 (3) 利用者負担額等の請求・受領事務 (4) 障がい児通所給付費請求・受領業務 (5) 利用者からの相談・苦情処理に関する業務 (6) 事業統計の作成 等
2 事業実施の予定時期	令和○○年○月○日
3 従業者等の予定人員 <p>管理者が児童発達支援管理責任者を兼務する場合は、このように記載して下さい。</p>	(1) 管理者 ○名 (児童発達支援管理責任者を兼務) (2) 児童発達支援管理責任者 ○名 (うち1名は管理者を兼務) (3) 従業者 ○名 (うち、常勤○名、非常勤○名)
4 1日の利用予定者数及び通常の事業地域内外比率 <p>合計が100%になるように記載して下さい。</p>	(1) 1日の利用予定者数 通常の事業の実施地域及び近隣地域からの利用○名 (2) 通常の事業の実施地域内外の利用者比率 (見込) <A市> 80% <B市> 15% <C町> 5%

様式は任意です。必要な項目があれば、上記項目に加えても差し支えありません。

付表、運営規定に記載する実施地域と統一させて下さい。

(記入例3)

事業開始月から定款に記載されている法人の会計年度終了月まで

収 支 予 算 書

(令和元年5月～令和2年3月)

単価は全て参考です。
正しい単価で作成してください。

※児童発達支援及び放課後等デイサービスに係るもの

(単位：円)

科 目	金 額	根 拠
障がい児通所給付費収入 … A=(1)+(2)	18,909,000	(1ヶ月) 児童発達支援 @9,330円/日×5人/日×20日 =933,000円・・・(a) 放課後等デイサービス @7,860円/日×5人/日×20日 =786,000円・・・(b) (a+b)×11ヶ月=18,909,000円
児童発達支援 (1)	9,330,000	
放課後等デイサービス (2)	7,860,000	
支出(B=(3)～(8)の計)	16,830,000	
人件費・・・(3)	9,460,000	(1ヶ月) 管理者兼児童発達支援管理責任者 230,000円=C 児童指導員(常勤) @170,000×1名=170,000円=D 保育士(常勤) @170,000×1名=170,000円=E 障がい福祉サービス経験者(常勤) @150,000×1名=150,000円=F 指導員1人(非常勤) @900×80H=72,000円=G 運転手2人(非常勤) @850×80H=68,000円=H (C+D+E+F+G+H)×11ヶ月=9,460,000円
※内訳の記載が必要です。 常勤：平均月給×人数＝金額 非常勤：時給×時間＝金額 ※児童指導員、保育士、障がい福祉サービス経験者等、職種毎に分けて記載のこと。		
賃借料・・・(4)	2,200,000	200,000円×11ヶ月=2,200,000円 ※賃借料…家賃・共益費・管理費・消費税を含む。
※賃貸契約書に記載されている家賃		
光熱水費・・・(5)	550,000	50,000円×11ヶ月=550,000円
通信費・・・(6)	220,000	20,000円×11ヶ月=220,000円
事務費・・・(7)	3,300,000	300,000円×11ヶ月=3,300,000円
その他・・・(8)	1,100,000	100,000円×11ヶ月=1,100,000円
差引収益(A-B)	2,079,000	

- ※ 科目は、それぞれの法人等に適用される会計基準等で作成してください。それによりがたい場合については、上記を参考にさせていただいて差し支えありません。
- ※ 申請するサービスに要する経費のみを記載してください。(他の障がい児支援や障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスに要する費用とは分けて記載してください。)